

宮北小学校 学校だより ふじさと 春号

みとめあう やるきのある きたえあう たのしい学校



春の到来！



Spring has come !

しゅんどう
蠢動せよ

学校長 道本 美月

学校に届く雑誌のコラムで

「蠢動せよ」という言葉を目にしました。

「春」の下に「虫」が2つ

思わず目がいってしまいました。字を見ただけで何となく心も身体も動くような躍動感がありました。

そこに書かれている文章をうまくありませんが、私なりに要約すると

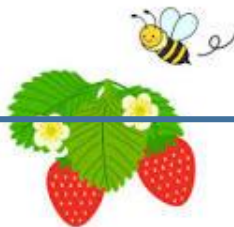
「自然界の生き物たちが春の陽気に誘われて動きだすように、私たち人間も春の運氣に乗じて動き出さないともったいない。

しかしながら、春という季節は別れ、新しい出会い等の不安が一杯で前に進むことを逡巡しゅんしゅんしてしまうこともある。

それでもみずからの天分を信じて、前に進むことは尊い。この生命が最も輝く季節には、虫にならって、とにかく蠢動することが大切だ。」

という内容でした。

春という区切りの季節、厳しい冬を乗り切り、生命が最も輝く季節を子供たちと一緒に楽しみたいものです。





3学期が始まって、コロナ第6波に翻弄されて1月、2月はあっという間に3月も中旬を迎えました。6年生27人はもう間もなく3月18日に卒業式を迎えます。

今、校内は卒業に向けて一所懸命に取り組む6年生と6年生を送るために準備をする5年生を中心として、低学年、中学年の児童もチーム一丸となって様々な取組をしているところです。

3月4日には体育館で全校揃って、短時間で6年生を送る集会をしました。全校児童が一同に揃うのは、この日が最後となりました。各学年で工夫したプレゼントと6年生への言葉を贈りました。体育館は、心の花束でいっぱいになって温かい気持ちになることが出来ました。

宮北小学校伝統の「みやきたまつりばやし2021」をこの日初めて6年生が披露してくれました。6年生の迫力ある太鼓演奏に1年生～5年生の児童も感動してワクワクしている様子が伝わってきました。卒業式には最後の演奏をしてくれます。

3月17日には全校児童・教職員で下校時に6年生を送り出します。

出会いに感謝



春は別れと出会いの季節

宮北地区を離れて、または和歌山を離れて、4月からは新しい土地でスタートを切るご家庭が今年もあります。転校していく児童、保護者の方との別れもまた辛いものです。

宮北小学校で出会ったご縁を私たちもいつまでも大切にします。新しい土地、学校でのご活躍をお祈りしています。お元気で！

春休み中の健康観察をよろしくお願い致します。

まんえん防止が終了しましたが、感染拡大はなかなか収まりません。気を引き締めていかねばならないと思っています。

この1年間学校にご支援・ご協力を頂きましてありがとうございました。職員一同感謝の気持ちで一杯です。